



2016.3.11 No.35 全釧路教職員組合

## 総会化後はじめての定期大会② 委任状にも多くの声が寄せられました!

今大会から総会制となりましたが、土曜授業などの事情により参加できない先生も多くいました。大会の委任状には「私のひとこと」欄を設け、参加できない先生にも声を寄せていただけるようにしました。そこに寄せられたメッセージを紹介します。

●釧路市支部 飯屋崎 宮

毎日忙しく一日一日をやっとすごしている感じです。  
少しでも生活に余裕ができたかなと思います。  
心の余裕をもって子どもに接したいです。

●阿寒支部 佐藤 里加

日々の奮闘、ご苦労様です。

●釧路市支部 大森 修二

どんどん閉塞感が増し、モノが言いにくくなる職場。  
民意を無視して突っ走る政府。  
言わなければならないことがたくさんあるのに、土曜登校日のため欠席します。  
活発な討議で現状を切り開く方向をさぐっていくことを期待しています。

●釧路市支部 山賀 明子

集会・大会、どちらにも参加する事が少なく、心苦しく思っております。

●釧路市支部 高橋 浩之

今、教育現場は本当にきびしい状況にあります。先生方も一人ひとりがばらばらにされています。今こそ団結が重要です。みなさん！がんばりましょう。

●釧路市支部 菊地 哲史

大会が本物の教育と教師を求める人々の希望となることを願っています。

●標茶支部 松岡 秀尚

今の日本はどこへ向かおうとしているのでしょうか。“安倍政権を許さない”の声を大きくし、なんとしても戦争法を廃止させる必要があります。

今回の大会は全釧路教組史上初の総会制で行われます。私も是非出席して発言しようと思っていたのですが、家庭の事情が許さず欠席となりました。本大会が盛会に終了することを願っております。

●標茶支部 坂本 富士子

組合があってくれるおかげで、安心して働くことができます。

●厚岸支部 高橋 輝未

組合員として今できていることは？と訊かれたら…支部の会計業務(組合費の納入が遅れぎみですみません)、ときどき支部会議に参加すること、組合費を納め続けること…くらいしかないのが現状の私ですが、組合員としてつながりを感じながら、日々働いています。

子育てが一段落したら…またできることを増やしていけたらと考えています。



●釧路町支部 竹原 浩

教師も子どもたちも管理されることに慣れてきたように思われる。学校が学習塾のようになってきた。

●弟子屈支部 加藤 厚子

日々、多忙な中、何かと行き詰まったとき、手にした全釧路情報、組合の奮闘している姿に励まされました。忙しさにまぎれ、意識的につながることも大変ですが、学校内の目の前のことに追われていても視野は広くありたいと思います。

●弟子屈支部 竹越 英三

道徳教育の位置づけが重要になってきている感があります。

## 非正規学習交流会～現状と展望を学びました

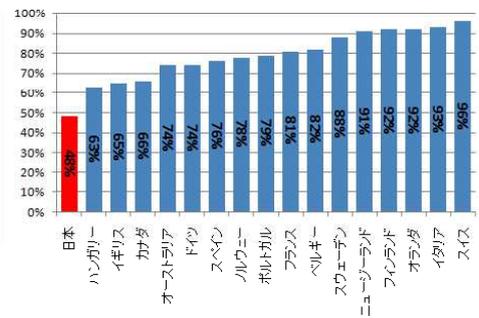
3月5日(土)は、釧路連が主催する非正規学習交流会がありました。はじめに、日本の非正規労働者の現状と展望について、釧路連渡邊議長の学習講演がありました。正規賃金と非正規賃金の格差も、最低賃金も、日本は先進国中最低でした。また、同時に、仲間と連帯したたかい続けることによって展望が開けた各地の事例も知ることができました。

その後、職場報告として、2名の報告がありました。非正規職員の困難さ、不安、悔しさなどの思いが語られ、そして、組合の仲間と連帯し行動することによって、賃上げや正規職員へとつながったことが報告されました。

学校現場の中にも、非正規で働く教職員はたくさんいます。そうした仲間とつながり、働きやすい職場づくりのために声をあげていくことも組合の役割だと思います。今後、年4回程度の学習交流会を継続することも決まりました。近くなりましたらお知らせしますので、非正規職員の仲間を誘って参加してみませんか。



パートタイム賃金のフルタイム賃金に対する比率の国際比較(時給ベース)



## JALの不当解雇を許さない!

3月6日(日)午前は国際女性デー釧路集会で、JAL 不当解雇撤回争議団の小栗純子さんの講演がありました。午後は、小栗さんを囲んでの学習交流と釧路でのJAL 支援準備会が行われました。

JALの不当解雇は、国鉄民営化の状況とも似ています。無理矢理に人員整理をしましたが、結局人員不足になり、大量の新規雇用をしています。安全管理はおろそかになり、事故も多発しています。

JALの不当解雇の問題は、私たちの安全を守るたたかいでもあり、全労働者を守るたたかいでもあります。全釧路教組からも支援金を渡し、応援しました。

